

K K 通信

第6号

発行人 吉田 稔
編集人 箕田 京二
発行所 大阪府堺局
区内菅原通四ノ三〇
曙 書 房

私は奇巧の熱烈な読者の一人ですが、本欄をお貸りして私の「縛られた女及び男」の繪に対する希望を述べさせていただきたいと思ひます。

まず、縛られた女の繪ですが（これは結局は喜多先生へのお願ひとなるのですが）いままで裸か或は腰巻をまとつた形で縛られた繪は充分拝見して見ますが、シミーズだけ、或はブラジャー、ズロースだけにされて縛られたもの、又は完全な洋装をした上から縛られたものをあまり見せていたことが出来ませんことを残念に思うのです。私はそれらの下着或は服のふくらとした盛り上りにも非常に美しさを感ずるのです。

次に縛られた男の繪に関してですが、まず何よりも縛られた女の繪に対する喜多先生の様にこの方面の繪にもどなたか先生が専門に描かれ、あの喜多先生の描かれる飛び付きたい様な繪を、縛られた男の繪にも実現していただきたいと思ひます。いままで時々マゾヒズムの男の文章に対する挿繪を拝見していますが、文章によつて受ける興奮が繪を見てさめてしまう様な気がするのです。どうか今までの見る挿繪の様に単なる線画或は幻想画ではなく、喜多先生の繪の様なつきりした割り切れた繪をお願い致したいと思ひます。

○ (京都有馬稲高)
一月号の「責の衝動心理」をテーマと

した座談会大変面白く拝見しました。編集者の御苦心、心から感謝いたします。今後ともどしく各地で開催して頂くようお願いいたします。さてこの機会に私の希望としてお願いしたいのは、参集された方々の御内諾を得て会場の実況写真を是非本誌の口繪にのせて頂きたいことです。併し色々な御事情で本誌にのせることが不可能でしたらせめてKK通信にでものせて頂けないものでしょうか。

次に座談会の構成ですが、能動的な女性と受動的な男性の対談会、サド的な女性又は男性のみの座談会、或は同性愛をテーマにした座談会等も開催して下さい。四号の編集部によりによれば、縛られる男性に配するにオオミの貴婦人の写真をお撮りになる御企画の由大いに賛成です。たゞこの場合、責める側の女性も普通のモデルでは物足りないと思ひます。やはり此の道に趣味を持たれる貴婦人でありたいものです。又その構成も同じ傾向を持たれる女性によつて行われることが望ましいと思ひます。女性心理は女性のみが知るからです。尚如何に着衣の御婦人であつても和洋装を問はず、この腕や脛等の曲線美は浮世繪式に是非表現して美しい芸術味のある立派な作品を沢山作つてほしいものです。

○ (北海道 艾井)
会員の皆様、私も十月号より奇巧を知り愈々引きつけられて行く愛読者の一人

です。同好の士諸君の高邁なる御意見は何れも嬉しく拝見し全く心強いものを感じております。今迄抱いていた性癖に対するひけ目が実にカリリと晴れ渡つた様な感じですが、アブニストは決して卑屈になつたり陰險な気持になつてはいけな

と悟りました。人間は押えられれば押えられる程反撥し、隠されれば隠されるほどあらわにして見たいものです。その意味で奇巧の進み方は非常に重大な意義を持ち、それ故に奇巧及び之を盛立てて行く読者の健康な思想を期待したいものです。東京、黒井氏の御意見の如く、もつこの方面にも進みたいものです。

こゝで一つ提案して見たいのは、そうした同好の士諸君の友情と健全な発展を願う為、会員たる証即ち「バッヂ」かなんかを考案したら如何でしょうか。道路や乗物の中や人の集まる場所、他の人々には知られなくても、お互に初対面の会員が心易く話しかけることも出来るようになるでしょう。お互の激励や意見の発表がどんなに相互に喜びをあたえ、力づけられることでしょうか。

○ (和歌山 佐渡魔造)
阪本君様、私はあなたの御意見を最も嬉しいと感じた同じ様な傾向を持つ者です。

一月号が前号に発表されていた目になつても私の所に届かないので、これは何かあつたな、と愛読者の一人としてとても心配してました。最近の情勢では御苦勞も多い事と思ひますが是非いつまでも頑張つて下さい。

○ (岩手 TO生)
私は一昨年前よりの松井鏡子女史のファンです。女史の心理描写の旨さ、殊に

女性の持つ心理の動きの表現にはいつも魅せられて居ります「陰火」以来松井子と云う活字だけで、もうゾクリと来るくらいですがその横に喜多玲子画と来ればそれを見ただけでエレクトします。

新年号から始まつた「みだらび」には多大の期待をかけている一人ですが、あの美しい小百合夫人が責められる場面を心に描いてウズクしているのです。二月号は「淫火」の巻頭に玲子女史のあの様な繪があつたので、第一番に読み始めた程でした。私はいつも考えるのですが、変態艶書のようなものを松井女史が書かれたら岡田さんとはまた違つた素晴らしいものが出来るのではないかと思います。勿論、玲子女史が松井女史を責めるのです。いやそれとも、今度は玲子女史を責められる方にしても読者が喜ぶでしょう。(あまり勝手な事を言い過ぎたかな)

○ (浜松 大島隆道)
へばきうり続篇・ある少年の夢想・女囚刑体験記等はとても好きです。特に体験記二七頁の「或る部分を口と舌で一時間以上……」と云うところ。狂い咲くカンナ其の後の告白一四四頁の妊婦が裸体で縛られている繪。錯乱の倫理の一六九・一七〇頁、あまりにも素晴らしい魅惑に満ちていました。小生はクリンニクスに興味を持ちフェチズムの傾向も多分にあります。妊婦がスカートかズボンをはいた時、腹が大きいのでホツクがかゝらず、その開いた間から下着が見えるのと何となく興奮します。横浜の芳沢様お便り下さい。(岩手 TO生)

○ (岩手 TO生)
KK会員の皆様毎号潑刺たる元気で希望や御意見、趣味や嗜好を本誌並にK通へ御投稿され、尚積極的な方は性体験談等を私の最も敬愛する喜多玲子女史の真摯な麗筆になる挿繪を加えられて発表され、これに岡田咲子さんの春情蘇々たる甘味な作品、松井鏡子さんの小気味の好い烈深遠な創作、其の他学術的な此の方面の解剖研究参考文献等、直接身心に衝動を受ける数多い文面を讀ませて戴き、恰も自分自身が作中の人物である様な幻覺を起し無上の満足を覚えます。

私にとつて今まで無味乾燥、味気なき人生が明るく面白くなり興味津々と湧き新たる元気が横溢して全身を揺がせ、生活上のエネルギーとなり明日への糧となつて、今日では私には本誌及K通が絶対必要なものとなつて居ります。

現在の私は会員の皆様ともう一歩前進して見たい思考で一パイなのです。読者通信を見ますと、同好者相互に意志の交換のみでなく、實際行動を求める為に各パートナーを得る事に苦心され、又自己の欲求が甚だ急激であつても周囲の環境の為に心ならずも辛うじて自制して居られる等の方々を如実に御見受け致しますが、これが終極の目的として編集部の御指導と御支援を得て読者クラブを創立し読者同好の實際機関とし、必要な施設を整え会員が何時でも望む時に利用し得るようになれば如何かと思ひます。維持費は原則として会費を払つてこれに当て、組織は組合法人の形をとる様にします。皆様、この様なクラブを持つ事に御賛成下さい。(石川、加佐和夫恩)

○ (石川、加佐和夫恩)
本欄に対する御投稿は原稿用紙でなくとも便箋でもハガキでも結構です。辛辣な苦言も遠慮なくお寄せ下さい。(保)

レッド・ルーム

赤い部屋

(二)

山城 一男

ミチコの両腕と、もう一個所の部分には一センチ程の毛が伸びていました。此の間責めた時から二十日近く経っている証拠です。私は剃刀で全部剃り落しました、これが私の性癖でしょうか。

剃り終つてすべくとした三つの個所に、ワセリンをぬつてやりました。そうしているうちにふと見るとその部分に、二本ばかりの毛が残っているのに気が付きました。毛抜きで抜くと、ミチコはちよつと悶えました。声は鼻声にしかならず、鼻声が出ると彼女の苦痛が分ります。私はそれが終ると足だけ解き、両脚を合せて縛つて、架の滑車から垂らした綱と結んで吊上げました。

恰度手は刑台に結ばれたまゝで、腹の皮がつる程引き上げるのですから、逆に万歳をしている様な恰好です。綱が足首に喰ひ込むのが痛いらしく、頻りと鼻から音を立てました。

私は逆吊りのミチコを撫でてやりました。全裸の逆吊りの姿勢は私の好きな一つです。肋骨がぐつと盛り上つて、乳房の重みは円く顔の方へ傾きます。

私は今度は割れ竹で彼女の全身を打ちました。竹の鳴る音とミチコの悶えと呻きの声とは交錯して私の眼を惹きつけてくれるのでした。此の時にもう排泄はしませんでした。

その逆吊りの儘、私は少し疲れたので椅子に腰掛けて一服しました、煙草を吸

いながら、苦しさで悶えるために揺れている裸の女をじつと見つめていました。ちよつと思いついたので私は立つて、逆に両手を横たえたまゝのミチコの乳房の下のところへ、煙草の火を押しつけると全身がビリビリと震えて悶えました。もう一つの乳房の下にも押しつけてやりました。その時には彼女の顔は殆んど紫色になりかけていたので、滑車を廻して刑台の上に降してやりました。

その頃にはもう昼も過ぎていたので彼女を刑台の上に大の字に縛りつけ、上から毛布を掛けて私は居室に戻りました。

私はそれから一時間程食事したり、新聞をみたりしていました。勿論ミチコは三日間絶食で、口にはめた革の猿轡は外されることはありません。しかし、そのまゝでは衰弱するので、夜になると私はいつも、ビタミンと葡萄糖の注射をしてやりま

す。レッドルームへ戻つたのは二時過ぎだったでしょう。彼女の肌は冷たくなつていたので、四肢を横たえたまゝの姿勢で全身を摩擦してやりました。

そして、刑台から四肢を解くと、抱いて「吊し棒」まで運び腹に横棒を挟み、両手と両足を前に縛つてぶら下げました。ミチコはこの姿勢を一番恥しがりました、手足を四つ一緒に縛つてぶら下げられると、覆うことも出来ないで現われてしまつからです。こゝで行う念の入つた

いじめ方は省略します。ミチコはこの責めには堪え切れず鼻腔から嵐の様な音を出して泣き悶えました。

吊し棒から外したミチコを、私は後手に縛り、裏の雑木林の中に引き立てました。そして松の木の前向きに立たせて、殆んどがんにがらめと云つて良い程に縛りつけ、こゝで一時間ばかり彼女は曝されるのです。私は居室に帰つて眠りました。これは夜の責めの用意とでも云えます。外は相当に寒かつたのですが、私はそんなことで容赦しないのです。いつも後で聞くと此の曝し木の間の時間が一番苦しいと申します。木は松ですのでもがくと、松のかさとした皮で痛いので



編集部便り

○会員諸氏の熱望にこたえて、本号よりK通が一頁の頁数になつた。今年もますます頑張りま

す、と云うしるし。何卒倍回の御支援を云うわけ。
○奇ク三月号を皆様の御手許にお届けしてはつとす間もなく四月号の陣容がゾクゾクとこのつて来る。スゴイゾスゴイゾ!!。四月号悩乱の美酒の香りは次の通り。チョット内緒でお知らせする。

○古川裕子さん 続「囚衣」最愛の夫を交通事故で失つた裕子さんに、札幌の男と大阪の男とが手を差しのべた。悲しくも美しい悦唐の末に人をどちらの男が一体どのようにして手に入れるか?

す。

目を醒ますともう外は暗くなつていました。私はゆつくりと食事を済まし、新聞を讀んでから、革の轡と注射の道具を持つて雑木林へ行きました。

ミチコはぐつたりして殆んど意識がなくなつていました。体に触れると氷のよう

に冷え切つていました。松の木から彼女をほどいて両手で枝に吊しました。足首も縛りました。そうして置いて革の轡で全身を鞭打つてやりま

す、彼女も意識を回復しました。全身が赤く色づく様に打ち据えてから、降ろして、枯草の上に横にし、ビタミンとホルモンを膣へ注射してやり

ました。それでも相当参つています。
○「風流猿轡」吾妻 新氏。前号「サディズムの精髄」の筆者が明快な筆致で繰り展げる川柳猿轡の考察!
○自分の妻をサドに仕立て、その膝下にひざまずき香り高いミルクを求める男の姿!おゝそれは「らぶすれいぶ」だ。それと同じ傾向のものとして面白いの

は「あなたの下」の筆者角田平八氏の「或る家庭教師の告白」であろう。
○岡田咲子女史の「キメラ愛好会」これは云わぬが花。御期待をこつ。
○長岡愛一郎氏の「地獄繪行脚」
○美しい若者を一糸まとわぬ裸にして、喜悅するまで責め虐げる色町の夜話。別れ別れになつてしまつたその妓を思いつく描く想い出の幾場面「妓の影」
○「雌獣の手記」と云う此の投稿作品は素敵に面白い。このまゝ活字にすれば読者がきつと喜ぶに違いない。しかしちよつとラブナイかな?
○その他に松井菫子女史の「淫火」第四

本誌直接購読会員募集

奇譚クラブを毎月確実に書店販売前に入手される為には直接購読会員におなり下さると御便利です。KK通信を無料贈呈の他景品贈呈の特典があります。(KK通信のみの送附を望まれる方は半ヶ年分実費百円で直送致します)

○三月分(三冊) 三百円
○半年分(六冊) 六百円
○一年分(十二冊) 千二百円

品 半年分買められる女の写真三枚一組
票 一年分 八枚一組



縛り絵(寫眞を含む) に対する考究

南 壘

人間の持つ本能的なエネルギー(フロイドならビドーと稱するもの)プラス後天的環境的に育成されたエネルギーの總和が表現される時、

イ、主として原始的な粗野な形をとるか。

ロ、主として知的に人工的(アーティフィシアル)な形をとるか

二大別することが出来ます。

イ、情熱と法悦に力点があり、ロ、は知的遊戯と、人類の変種創造に力点があります。

チャップリンの近作「殺人狂時代」もイよりロに近いものであつて私達の心理学的興味をそそぐものは、虫も殺さぬ様な温厚さと洗練された教養を身につけた中年紳士が、意識的に試みて居る、知的な実験及びそれと近代文明との関係であります。

「責められる女体」の美は、(イ)「情熱美」の表現にアクセントを置くか、

(ロ)「知的遊戯の冷たさ」にアクセントを置くかによつて異種のものに分れると思ひます。それでもし、(イ)を主として狙うものであるならば、モデルは高貴である必要はないと思ひます、勿論美しい程効果がありますが、その美しさはA、可憐さを多分に現わすもの。

B、山猫のような野性美を現わすものの二種が適して居ると思ひます。

可憐で美しい女が、肉体的苦痛と精神的苦痛(恥辱)にあえいで居る姿は、征服者としてこれを眺める男性又は、女性の性的快感をそそぐでしょう。

自虐者は自分が二つに分裂して、自己の中に虐げるものと虐げられるものが共存する場合なので、無論、かゝる刺戟繪圖に対して征服者としての快感を味わつています。

次に山猫のような野性美と云うのはサディストの女性の端的な表現であり、精神的には低く且つ単純なものです。併しかゝるサディストが逆に虐げられ、辱められている姿は、やはりそれを無理に征服したものゝ快感をそそります。又そこに動物(殊に猛獣)虐待のエロテイクがあります。

共に一種の美を、肉体のみならず顔にも持つて居る方が有効だと思ひますが、その点が若しギリシャの女神の様に端正で神々しい容貌美であつたならば(イ)としての効果は減殺されるでしょう。これに対して同じ「責められる女体」でも、(ロ)の効果を狙うなら

モデルはその容貌に於いて、社会的優越性(社会的階級が高い事)又は知的優越性を示すものゝ方がよいと思ひます。

若しも知的に優れた天才児的容貌者であつたり、王侯の階級のものであつたら裸にされ、男なら或る一部を綱で引つぱるとか、女なら四ツ道にはわけて犬をけしかけるとか、其の他あらゆる極端に凌辱的な引廻しを行つたとしても決してその顔容の高貴さを失わず、又涙も流さず肉体的苦痛に対しても冷徹としてこれに

耐えるでしょうから、そこに普通のいわゆるエロテイズムは起りません。一般に高貴な美しさに対しては我々は肉體的な衝動を感じ難くむしろ精神的な感動に打たれます。

さてこの様にして、モデルの顔の美しさの如何により、同じ責められる図繪でも、エロテイクな、衝動刺戟的な(イ)になるか、又は知的な興味を惹く、(ロ)になるか分れると思ひます。

私個人の趣味としては、インテリゲンチヤに属するものである為でしょう矢張り(ロ)の方に引かれます。つまりエロテイクでなくとも知的な遊戯性の中に複雑な一種の快感を感じるのです。その気高い美しさと、その虐げられた姿(奴隸的、乃至四足獣的取扱ひの辱しめ)との凡そふさわしくないものゝ対比。美しく而も毅然として踏みつけられ、或は引裂かれる姿——それはエロテイクとは云えない何者かがあるのです——。

何者? それは生物のすぐれた変種である人類、そのまた人類の複雑さから生じた変種的な要因結合の産物である変種であり、人為的な可能性の実験に於ける象徴物です。

(ロ)こそ私の望むものですが、モデルにその容姿美の端正と高貴を望み得ないなら少くも(イ)に於ける「美しさ+可憐さ」又は「美しさ+山猫の野性美」(註。この可憐さ又は山猫の野性美——は社会的劣性又は精神的劣性を現わす)の条件を具備したものであつて欲しいと思ひます。

以上の私のさゝやかな縛り繪に対する考究について御意見のある方は御申出下されば嬉しいと思ひます。

部り 理よ 代だ



縛られた女の寫眞・分譲

光沢面 焼付五枚一組(二集分)二百円 印刷紙

○第五篇(四十一集より五十集迄) 十集

○第六篇(五十一集より六十集迄) 十集

○第七篇(六十一集より七十集迄) 十集

○以上各集共一集分各々五枚一組です 集を重ねるごとに充実発展して参りました本誌獨得の縛られた女の寫眞は、愛好者の間に大好評を博しまして、優秀なコレクションとしての役目を果して参りましたが、其後引続き猿轡や道具を用いたもの、鎖にて縛つたもの等を発表、その特異な緊迫美の雰囲気は見る者をして恍惚境に誘ひ込んで居ります。

今回は更に読者待望の各種の吊り下げられた容姿の撮影を敢行し、壓制的な人氣を得て参りました。まだ御覧になつて居られない方はお早くお注文下さる様お待ち致します。

吊し責の三態

特選焼付寫眞 三枚一組

キヤビネ版 五百円

此れは今迄一度も発表した事のない、とつて置きの各種し吊責め容姿中、最も興味あるものを選びました。御申込次第厳重荷造の上急送致します。一組あり

◎縛られた女を描く 寫眞集

本誌新年号の口繪に発表しました寫眞集の御希望の向きには御申込次第増しの上御送付申し上げます。

キヤビネ版、四枚一組三百円(送料共) 三組計十二枚あります。

◎鎖を纏つた女◎

豊満な白磁のような女体の肌に喰ひ入つたくさりの鎖し出す微妙なコントラスト、鎖を纏つた女体の美しさを追究してここに五枚一組の寫眞一組完成しました

第一組(五枚一組) 二百円(送料共) 第二組(五枚一組) 二百円(送料共)

■待望の第七篇愈々分譲開始!

愛好者の御期待にそむかないため従来の御批評を総合して満を持して居りました寫眞部が奮起一番、口繪寫眞とは全然別の観点より腕によりをかけて撮影しました極めてバラエティに富んだ逸品揃いであります。御申込をお待ち致します。

○第七篇(六十一集より七十集迄) 十集

★襲われる女★

十二枚一組五百円(送料共)

此れは暴漢に襲われる美少女の恐怖の姿態を鎖と鎖をアクセサリに用いた得難い作品です。(シリーズ十二態)



自縛の実験報告

土山 徹

「責めの体験については多くの資料がある」と存じますが、私の「責め」の実験の写真を送りしますから御覧下さい。

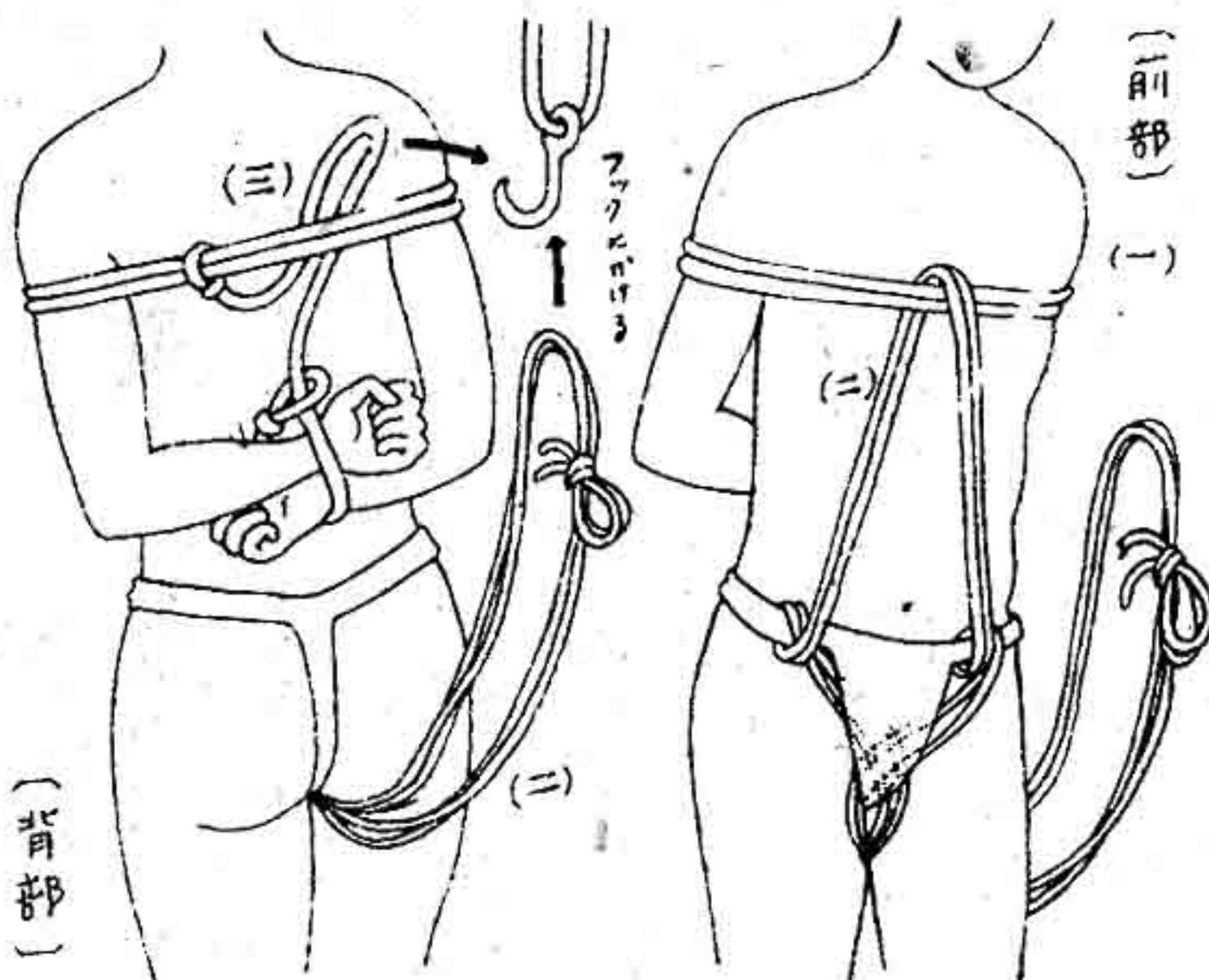
これは室内の自然光で、セルフタイマーで撮ったものです。此の三枚の外にも二、三撮つて見ましたが次の理由で皆くとれません。暗いために速いシャッターが切れず、又被写体である私の身体は完全な宙吊りで、勿論足は地に付いてないのでクルクル廻つて止らず、ブレてしまいました。又、カメラの角度が悪いため、縄目の細部が明らかでなく、ピントも合つてませんので見苦しいです。従つて引伸しも出来ず敢てコンタクトのまゝ御目にかけます。

データは、Sパール、ヘキサP四・五、絞り開放十分の一、此の次は高感度フィルムでも使つて良いものをお目にかけますが敢あえず此の写真と下手な文と略図で説明します。(繪は下手なので編集部の方で描き直して下されば幸甚です。玲子氏の「責めと私」の真似ですが御参考までに――)

(一) 先ず太目の一本の縄で胸と腕を三廻り程、出来るだけ固くキツチリと縛ります。(以下全部一人で行うのです。自縛自縛の方法ですから)

(二) 次に別の細目の二重の縄で、中頃を四つに胸の縄にかけ左右に開き六尺程の前ミツの傍でそれく一廻ししてその下から前ミツの下部で此の縄

を交叉させます。此の場合二本宛計四本の縄が交叉している中へペニスを入れて置きます。縄の末端は適当な長さの場所ですなます此の長さは本人が直立して床に触れない程度です。



(三) 小手を縛る縄は、背部で末端を四つに輪にして小手の出し入れを目に在にして背の縄にかけます。

(四) 縛る縄は私の場合、天井裏の梁から天井板をすらして部屋にたらし、先に丈夫な金属の吊り具のフック(私は物干棒の受け、帽子掛の金具)をつけるこの高さは本人の背丈より四五寸以上高くする、これで用意が出来ました。

(五) 踏み台をフックの真下から多少横にずらして置き、その踏み台の上に乗る前胸から下に交叉して垂らした縄を股下から臀部に回して背部からフックに掛ける。小手を後手に(三)の縄の輪

の中に差し入れ、指先で小手を下げた

縄を背部の(二)の縄の下を通して前図のようにフックにかける。これで静かに踏み台から足を外します、後手は正に高小手に縛つて締められ、又別に(二)の縄は興奮した〇〇を上下から締めつけ、キリキリと締められた身体は空中で高々とクルクル回り十分間もそのまゝでいると全身が不隨意筋化し、あの瞬間となるのです。

(六) 股間の縄は無くても宙吊りの緊縛感を得られますが、胸の縄を余程強く縛りませんと小手が高く吊られて十分間と耐えられませんか。足首から腰、腰と全身を締め縛つておくと正に身動きも出来ません。勿論、前述の(五)のように下げると如何にもがいても解けず万一、踏み台でも蹴倒すと絶対に一人ではとれず大変なことになります。猿轡も自由です。私の場合布を口の中につめ、猿轡を嚴重にかけ、又(二)の縄の代りにザラザラした荒い感じの布を巻いて用い時には目かくしをします。目かくしをしない時は全身用の鏡を前に置くことと尚面白いです。

(七) 終りましたら再び踏み台に足を乗せれば手首の縄、股下の縄は容易に外れます。

(八) 此の普通の方法ですと手首、股下の縄の長さが適当であれば、三十分間は充分耐えられます。

踏み台を高くして足を膝から折りまげて縛り、膝を踏み台に乗せてフックに掛け、吊り下つた事がありました。刺激は猛烈でしたが再び膝が台に掛らず大変なことになった覚えがあります。この方法は今までの研究によると先ず不

可能です。

私の写真は、セルフタイマーを廻してから大急ぎでフックに縄をかけて撮つたものですが、任意の方向に身体が止らずクルクル廻つて弱りました。僅か三十秒間の仕事ですから、シャツが落ちる迄には足及膝を縛ることはできませんでした。

この方法ですと、宙吊りのマゾの真似はできますが、本当の緊縛ではないので自由に外れますし、又他の種々の縛り方(縛られ方のこと)は出来ませんので私は極めて不満なのです。「奇ク」を通じて

松井籟子女子を囲む

第二回 読者座談会

好評の第二回読者座談会に引続いて今度は読者の要望にこたえて松井籟子女子史の出版の下に楽しく開催したいと思ひます。読者の方々の中から数名御出席願ひたいと思ひますので略歴記載の上至急座談会係迄御申出下さい。今回は川端嬢も出席を内諾していられますので、きつと愉快な会合になる事と思ひます。

◎特別会員募集

別紙採み込みの特別会員調査カードに各項目御記入の上御送付下さい。会員番号折返し御知らせ致します。詳細は同カードの裏面に御覧下さい。

◎KK通信の充実

特別会員の募集と呼びして、従前本誌に掲載出来なかつた作品をどしどしKK通信に発表することに決定、目下候補作品の選擇に忙殺されています。例えば予告したまゝ本誌に掲載出来なかつたマゾ

て私を縛つて責めてくれる友を得たい所以のものです。そうすれば面白い写真もできるでしょう。貴書房から遠いのでモデルになるのも容易でなく、何れ機会がありましたら是非モデルに使つて頂きたいものです。

(係より) 横濱、土山氏より原稿と共に同封されました写真三葉は、参考文献として珍らしいものですので同時に発表させて戴く予定でございましたが少しく不鮮明なものと小さい為に製版効果が適しませんのでやむを得ず割愛致しました。

ヒスト誕生や続錯乱の倫理等は先ず有力な候補作品として挙げられています。其の外単行本の発行、玲子面帳続篇、縛り女写真集の刊行等KK通信の大増頁充実と共に特別会員に限つて頒布する限定版として企画したいと思つて居ります詳細につきましては今後その都度御連絡申上げます。

尚特別会員募集についての準備が十分整いかねましたので、次号発送と同時に調査カードをお送りします。

◎読者の告白文
体験談性歴
を募る〇

原稿募集

「奇ク」をお読みになれる方なれば、変つた経験の一つや二つはおありだと思ひますが、文章の巧拙等は問いませんから御遠慮なくドンお寄せ下さい。会員諸氏の分は優先的に掲載の上、薄謝を呈します。

一月号にはこれといつてすばぬけたものはなかつたけれど、よくまとまつた、さつぱりした作品が多かつたので面白く読めました。この号では久留木氏、鬼山氏、芳野氏、松井氏、岡氏の作品、おつともう一つ羽村氏の「妖花」が伯仲の面白さでした。

(一) 燐光 (久留木氏) 夕方の景からすべり出すこの美しい曲にも似たえもいわれぬ妙味、川の流れにうつる光の中に主人公の豊満な肉体をにほわす溜息のつく様な夕の曲と夜の虚けられる藤の上の男女の情景は実によかつたね。併し朝になつてお松姉さんが縛られた芳子の裸体を抓るあたりからはだんくゝと妥協的ななつちまつて、ぶちこわしの様に思えるのと、これは致し方がないが伏字が実にくやしい。

(二) 硝子便所 (芳野氏) この作者の描くアブニストの醜態はとも僕には分らない。便所や糞便はね、どうもいくら自身を、神と悪魔の位置に置き換えてみても分らないから評なんて厚かましいのだがそれなのにこの人の作品は妙に魅惑的なのか、汚いアブノーマルなものを美

しい詩的なものにこれを巧みにカバーする表現の美しさ、プリズムの様な屈折された美しさが私の心にうつるのだからか狐が美しいお姫様に化けて、馬の糞を饅頭にして食べた時のような。

たものは、今迄種々出て来ましたが、前の井口氏の作品につき僕には面白く感じました。一寸むつかしいのが先にたつて頭の悪い僕には、大分頭をいためてしまいましたがね。(註) この男の本音は肥つた中年男との同性愛が得たいのですよ何だい、お前には若い美少年の肉体の味が分らないのに偉そうな事をいうなつてハイ分りました。

〇二月号の迷評〇

一 迷評家

てなく我が身のふがいなさを感じるが、このへん、迷評家として引込んではいられないと思つて、アラを探そうとしたが何も文句のつけどころがありませんでした。益々恐入つた次第エ？そんなに感心するなら一位に推せつてんですか、それは無理ですよ、好き嫌いはどんな批評家でも持つて居るものですよ、次号を期待します。

(四) 夜開く孤島 (岡氏) 同性愛を描いたもので生ぬるいかも知れませんが、あれでよかつたら是非出して頂きたいと思ひます。それから羽村京子さんが僕の記録の反対文を書かれたそうですが、若し僕が京子さんの事は誇張だ、真実でないと言つた様にとられてそれで反対される

とすれば御返事せねばならぬと思つています。あそこは真実の様に自分に思えない程自分の傾向はうすいんだと言いたかつたのです。京子さんの文章が真実であ

番で別に目新しいものでもないが、後半の自殺の方法が一寸奇抜で面白いな、むつかしい力学のことは私には分りませんがこの自殺は成功したでしょう。車裂は少々残酷みたいですが僕はサジズムでも殺すのや殺されるのはいやです。

これにつづもの「恋の字問答」。「琉球の女達」。「悩みのサデイズム」。「映画とサデイズム」。等でしょうか、映画にあらわれたサデイズム、これには僕も同感、新年号の「縛つた女を描く」といい今月の「恋に狂つたワンカット」、といふ、取締りの範囲内に頑張つて、効果を挙げようと努力する編集部の企画の御苦労は十分よく分りますが、全く歯痒い感じ、もう少しという所で惜しい。モデル嬢の気持もありその上種々の都合もある事だろうが、それにつけて涙の出る程残念なのは「当局の眼」でしょうね。「地獄図繪」「錯乱の倫理」の中止は全くうらめしい限り、これもその眼がわざわいしたのか中の伏字もね。何しろ、「チャタレー夫人の恋人」を狼せつ文書なんて目を三角にするお偉方が巾をかかせている国の事だからな!

ろつという事は信じて居るのです。若し願えるなら羽村京子さんの反対の要旨をお知らせ願ひたいと思ひます。 黒井 珍平

明けてからお出でとうございます。昨年中はいろいろとお世話になりました。本年もどうぞよろしく、御誌の御発展を祈ります。旧臘には年末の御多端の中をお手数おかけ致しまして失礼致しました。あの発禁の箇所は意外でした。あ

の部分は特に性的知識を複雑な言葉のニユアンスを用いて間接的に書いたつもりなのです。妾はもつと他の部分、四八頁のベニスの代用品のあたり、又は四九頁の上段あたりに苛責を感じていたのでしたが、つまりナマの表現ということに今後は自重することにします。 かしこ

藤安 節子

内容も益々充実し御誌の特徴を判然と

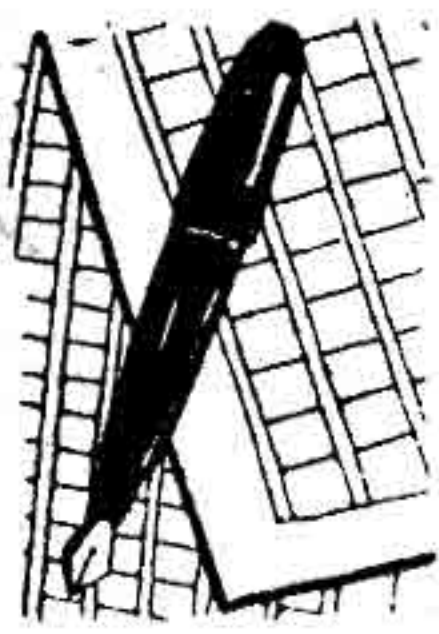
出ていてさぞかし固定した読者が増加した事と思ひます。らぶ、すれいぶについて昨日第四回目一応書き上げましたが、一寸気に喰わない所がありまして只今少し手を加えています。其の後モデルから追加材料も得ましたし、非常に変わった結末(現在の彼等の生活がそのまゝ、結末になるかどうか分かりませんが)変な具合に一応落着いたもので、バックボーンは出来ておりますので、私も読者の記憶に永く残るようなものを書いてみたいと思つて居ります。

次にらぶ、すれいぶの挿繪ですが、出来れば喜多鈴子さんに是非描いて頂きたいと思つております。喜多さんも随分描いていらつしやるので大変でしょうが、何とかお願い致します。 鬼山 絢策

〇 私のおはつかしい原稿を新年号におのせ下さいまして本当に恐縮に存じます。

あの文中で何かいけないう所がありました。私のかで大変驚いて居ります。あれは私の真実の告白でございます、その点ありのまゝ書きました為大層御迷惑をおかけしまして申訳ありませんでした。厚く御詫び致します。私は自分で結婚を嫌ひ感情的な性格のため二十八まで獨身で居ましたが、現在の夫と関係を持つて妊娠したので急いで結婚したので。結婚後はよき妻よき母として家庭を守つていました。夫に裏切られた事実を知り、あの妻の復讐のような文章になつてしまつたのでございます。私は心の中で悪魔を持つていましようとも、現実には理性や反省を持つて居るつもりで居ります。そういう自分の体験からついであのような肉体的なものを書いてしまつたのでございます。 辻 佳月子

作家だより



新年お目出とうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。只今お葉書いたゞきました。今朝「伊藤晴雨先生への御返事」をお送りした所です。別に始めから論争するつもりではありませんので、議論になつていず、多分に遠慮して書い

ボクの責め方

宝塚二三夫

(本誌十二日号読者通信F・T生よりの送稿)

ボクは性的女責のアブノマリツクな論
談でテレカクシするヤボは真平である。
ボクは若い女を縛つて性的責と脚に對
する溺愛者だ。

ボクは今現在縛っている女の各々個性
を描きつゝボクの「責め方」を發表する
完全な実行モデルノロチオである。

序 曲

(イ) 永井秋子 十九才 小間使

一寸ヤセ型、小柄で上品さが足らず

「着てさえこれだけイタイのやから脱が
されたらもの凄いのあたりまえや」とぼ
やき乍ら別に抵抗もせず、それで
もボクの唇を早くも待つてゐる女。

(ロ) 窪川エミ 二十才 事務室秘書

肉付よく色白く柔肌、白痴美の女秘書
どんな事でも云えと云えば復唱するユカ
イな女。車の助手台に乗せてアブノマリ
ツクなセリフを色々と唱わしつゝ突走る
愉快さは他にない。

(ハ) 松本和子 二十三才 秘書

云うなれば、唯一の得難き完全マゾの
オフィス・ワイフ。中背の血色よきもち
肌、肉感的な脚、これはこの一文の最後
を飾るべきで敢えて序曲を省略す。

(ニ) 島田君江 二十二才 食堂レチス

ター

大柄五尺三寸、小麦色、プリプリ張切
つた肉體、一見インテリ理性派のようだ
が一たび縄をかけると吐出するような口調
で「マァー残酷ネエ」足だけは素直なか

つこうで括つて下さいネ」と冷静を粧い
乍ら息使いを荒くして、突込んだ責談義
の出来る女、連れ縛の時一層ユカイ。

(ホ) 盛岡照子 十九才 食堂給仕

中肉中背、乳白色の美人、美しい脚、
眸、桃色真珠の踵、気味悪い程沈黙の内
に縛らし、鼻声ではすかし笑う女、
そのくせ或る場合に口悪く気の強いとこ
ろのある女。

(ヘ) 伊藤正子 十九才 食堂給仕

右の照子と好一对、美しさは一段落ち
るが白い柔肌、可憐な万点。

(ト) 古谷 鈴 二十才 食堂給仕

万能肉體派的柔肌肌型、両手背中へウ
ンとしめ上げるとフウン！とかすかにう
めき乍ら「見て頂戴、鈴がククラまし
た」と云える女。

(チ) 芳野実子 十七才 女学生



制服の袖口を捲り上げ、ひじが空に突
張る程両手首をねじ上げてやると背を丸
くした首をねじ廻して僕の顔を見て無言
でポロリと涙をたゝえ乍ら感激ををする
生娘。

(リ) 竹内ふみ 二十才、女大生

肥満的雪肌、正月早々、晴着に白い素
足と云う町娘には珍らしいいでたちでボ
クの食指を求めこちらがじり／＼じらす
と何かと無邪気らしくイタズラを初めて
責めへと誘い立てる娘。

(ヌ) 大仲春子 十八 戦女学生

細型スラリと背高い小麦色肌。責の手
を出す「こわい!!」と悲鳴を挙げると
縮かんでしまう生娘。

(ル) 新谷正子 二十三才 デパートと売

子

一見やせ型に見えるが脱がすと腰から
もへへと肉感感をそゝり立たせる太い絹
肌、責め初めると「マァー」と、あき
れたと云わんばかりの声を出すだけ。そ
してアベツクで夜道を歩いてうしろから
スカートを持ち上げ更にパンツのゴムか
らじかに手を入れて臀部の割目を手の平
や指一杯でなぶつてもフウ／＼小さい肩
息しながら、だまつて歩く女。

(ヲ) 市川みよ子 十九才 デパート・

エレヴェーター・ガール

小柄丸型、肉付よい赤肌、人気がない
開店早々等の屋上で閉扉の中で相当なぶ
らす女。それでも「本縄かけるのだけは
カンニンしてね、あとで入れ合せするか
ら……」と甘える。

(ワ) 藤原美代子 二十才、銀行事務員

大柄筋肉の張つた白系小麦肌、素晴ら
しい脚の持ち主、特に張切つた腰、足頸、
キビスには一目を置かれる女、ボツク
スのオーヴァーのまゝ一先ず細引で本縄
をかけ、脊下を脱がし跣足にして庭先へ
引立て足の指を頭のリボンで括り合わ
して立たして置くと「おなかまで冷えて



新年号発禁の弁

編集子

本誌新年号が発売旬日にして所謂刑法

のワイセツ文書としての容疑のもとに発
禁処分になりましたので、直接購読者以
外の愛読者の方々の中で大分お買い洩れ
になられた方もあり、編集子としまして
謹んでお詫び致します。

昨年末以来の言論抑圧についての逆コ
ーシスの気配を察知しておりましたので十
二分に検討の上絶対の自信を以て発売し
たものでありまして、新年号がワイセツ
の容疑を持たれるという事は実に意外と
いうよりは外はありません。皆様のお手元
へ届けるべく心血を注いで作り上げた雑
誌がみす／＼押収されてゆく事は返えす
返えすも残念でなりません。

然し戦車や重砲を装備しても軍隊では
ないという論法からゆけば、膝小僧を出
してもワイセツだという位の事は言いか
ねないかも知れません。嘗て一部の戦時
資本家と軍閥の利益と面子の為に、一億
の国民が馬車馬のように駆り立てられた
あの国民の眼も耳も口も一切ふさいでし
まつた暗闇の時代を再び想起せずにはい
られません。

編集子は新年号の容疑内容については
固く潔白を信じておりますので、気まぐ
れ的な処置に対しては一々左顧右眈する
ことなく、今後共更に一層の勇猛心をふ
るい起して読者諸士の絶大な御期待に副
いたいと思ひます。

御参考迄に新年号の容疑箇所を左記に

挙げておきます。

(一) 鬼山綱策氏作 らぶ・すれいぶ

一五頁上段八行より下段末から五行迄

(二) 藤安節子氏作 戦争処女の手記

四四頁下段三行より下段一五行迄

(三) 辻佳月氏作 妻の復讐

八五頁下段末から四行より八六頁中段

の四行迄

(四) 上村秀久雅氏作 赤につかれた男

一六〇頁の下段一五行より一六一頁の

下段一八行迄

(五) 一六〇頁の挿繪

(以上)

尚、書店にて新年号の売止めを聞いて
慌てゝ発行所へ御申込み下さつた方が沢
山ありましたが、今後は如何なる事態に
も迅速に確実に入手されるために直接の
御購読をおすすめて致します。且下の状勢
では取扱店、小売店に対する有形無形の
壓迫が強いため、十分末端迄行き届かね
るかも知れません。勿論本誌の編集方針
は従前と変わりなく、更に内容の充実と徹
底した編集を御約束致します。

四月号は倒錯の小説と告白の大特集で
皆様をあつと言わすべく只今最後の仕上
げに大車輪であります。五月号は女上位
の特集を企画中で、これも又得がたい唯
一の文獻となる事を信じます。どうぞ皆
様方の熱烈な御支援と御支持をお願い申
上げます。

役に立たなくなつたら困るのはアナタでしよう……」等とうそぶく女。

(カ) 中川美智子 二十才 D映画ニューフェイス

標準型肌は少しキメ荒いが美人、他の誰かを責め始め本編かけ終つて一服してあるボクの上へ平気で尻を乗せて来て、「自分のされる時はイヤだけどネエ……」と頬をすりつけて来る女、肌も肉も上々ではないが、姿とスタイルに負ける。

(ヨ) 平井みさ子 十九才 TS Kレヴューガール

大柄、赤黒い肌、京マチスタイル、バレエ科生だけあつて手足の柔軟性のため思わざる型の責が出来る。マアーマアとあきれ声を出すだけで気味悪い程責めさす女。肉体の味まずく責一本。

(タ) 森尾久江 十八才 喫茶ガール

小柄、桃色肌、ボチャ／＼型、真紅のイヴニングドレスから出た腕に気を引かれ買つて出た女。和服を着せて二の腕までたくし上げ両手背中でお太鼓の帯の

上へ乗せると「ヨシ！」と云うまでそのまゝでいる女。酒に酔わすと物凄く責に耐える女。無口も特長。

(レ) 野田華子 二十二才 ヤトナ

水商売特有のヤセ型、わけなく縛らせ人差指を唇の前へ出すと、目を細めて唇を丸くして吸付いてくる女。商売気拔で責めさすので可愛い。そのくせ他の人前ではツンとすましてる女。

(シ) 沢野末子 十七才 食堂給仕

年令に似合わない小マセ少女、身体も小マセ型、肉付より色よりもフレッシュなセンスが何より。大概の責の程度なら「ハイ」「ハイ」と責められている。それも余りイジケスに……耐えられぬ時は「勘忍して頂戴」とハツキリ歯切れよく言える少女。絶好の玩具というまで。

(ツ) 大島ふみ子 二十一才 デパート案内係

ヤセ型桃色肌浮気性で責にはもつてこい「うまい事言つてイジメルつもりでしょう。フフ……」フンフンヒヒヒイ言い乍ら「まだイジメ足りないの、可愛相じ

やない……」とうそぶく女。

(ネ) 佐々木立子 二十才、タイピスト

いふなればモチのような女、たこのような女。クタクツ／＼のどをならし乍ら責められている。

(ナ) 河井相子 十九才、交換手

美人ならず、色の白いとキメのこまかいのが百難か。悩みその足らぬのも一興「こんなに苦しめられているのにネエなんでもこんなに興奮するのやろ……」

「そばで見られてる時なんかエ、かつこのやろなあ、よう言わんワ」と。

(ラ) 佐野和子 二十一才 タイピスト

これも相子に似寄つたナンセンス型、胸から肩へと波打たせて喘ぎ。肉付よい白肌、太い手足をクネ／＼さしてテレクサイ程よくさす女。俯伏せに押さえつけ、背中で空を掴んだ手の細目をこじ上げ丸く縮めたからだの臀部を弄り出すと「イヤアアどうしよう、どうしよう……」と泣き声はよるこんでいるとしか思えぬ女。(次号へ続く)

○短 信 往 来○

川端多奈子嬢に対して縛らせてほしいという読者の注文が殺到、お志は嬉しいが身体が一つではどうもなりません、余りお責めになりませんようにと、流石の彼女も悲鳴をあげました。但しお手紙にはお返事を差し上げますとのこと。

×

貴重な文獻だと某大学の図書館から本誌のバックナンバー全部を求めたいと言

つて来られましたが、残念ながら七月号以前は品切、これはどうにもなりません

×

君のどこの雑誌が引つかつたそうだね、冗談言つてはいけない。引つかつたんじゃない、此方が引つかけられただんだ、全くのところ、蘭米の担ぎ屋と一緒にして貰つては困ります。

×

危険原稿ぞく／＼と机上に山積、さてどれから掲載してゆこうかと編集員一同頭痛鉢巻、読者からは予告したあの原稿

二月号補遺抄

(二二頁下段) 肛門 尻の 桃色に色づいた肛門 悩ましく左右に ゆれ尻の割れ目を立ちのぼり その度ごとに腹部はゆるやかな波をうった。

(二四頁上段) そしてスロースをすらせて真正面にかぐんだ。

(二四頁下段) 肛門は 腹部をふくらませて煙を吸い込んだ 可愛い肛門からそしてそのまゝ俺の腕の中に身を投げかけ妖しい動作で俺の慾情をそゝつた。

(二五頁上段) 肛門は

(二六頁下段) 肛門に突き入れるとグイ／＼と力をこめてゆり動かした。

編集長へのお尋ね

私は毎月貴誌の発売されるのを何よりも楽しみにしている一読者です。続錯乱の倫理や地獄図鑑が掲載中止になつたのはかえすがえすも残念です。本年新年号より雑誌類の取締り旋風の影響により止むを得ぬ事とは存じますが、公開を危ぶまれる記事や写真はKK会員には限定販売にするとかの方法によつてどうか私達愛好者の望みをかなえて下さい。たとえ値が今の三倍四倍になろうとも私は喜んで購読したいと思つています。それから従来方々の書店の店頭で沢山出ていた貴誌が最近急激に減少、市内N書店一軒のみにて、それも販売部数三冊という有様です。今後の編集方針や貴誌の将来について大変心配していますので御返事願います。(下関市K・I生)

○お 答 え○

最近の本誌が特に地方へ出廻らなくな

(二九頁上段) 両足を左右に開かせて(七五頁上段) 腹の上にこしかけ 足を開いて 両の乳房を握り、それをツバでしめし、指でクル／＼もみだした。あゝその指の絶妙な動き こけし

(七五頁下段) 大腿と腹にしばらく 固くなつた乳房の尖端にく／＼りつけると乳房がくの

(七六頁上段) 例の器具が

(二七九頁上段) 股間をに いじく 尺八 尺八

(二八〇頁上段) をいじり

(二八〇頁下段) ねぶり、しゃぶり、吸い、舌と唇の絶妙な力で或はしめ、或は吸い上げる。 出さないよ

つたのは確かです。それは判り申し上げますと問屋や小売店に対する或種の壓迫の結果です。然し最近では雑誌の相次ぐ休廢刊により売行きが急増した為売り切れたという事も言えます。御希望の趣は十分研究を遂げましたので皆さまの御満足のためより方法を追つてお知らせ致します。編集方針は従前通りより寧ろ徹底します。廢刊や変貌によつて読者を裏切るようなことは絶対にしないつもりですから、どうか御安心下さい。(箕田生)



KK通信第三号以前は全部品切れですから御申込み下さらないように願います



地獄絵

(4) 行田和子

「フ、。そう差しがることもなからうぜ、えつへつへ、さあ、こちらへきて酒を注いでくれ。」

悪魔はニタニタと口辺にあの淫らな笑いを浮べて、その節くれ立つたザラ／＼した掌で突俯している君子の小麦色のムツチリ張り切った柔肌を抱きしめ、口元からねば／＼したよだれをタラリ／＼と落しました。

私は、もう見ては居られない苦しさで頭の中はガン／＼と鳴り続け、全身からは血がす／＼と引いて行く気持でした。「あれーッ。」

重造の手が君子の軀の何処かにみだらな觸れ方をしたのでしよう、君子は悲鳴を上げて部屋の際に飛び退きました。尚も追いつがる重造の酔いしれた姿。

「えへへ……。」

下卑た笑い声を上げながら悪魔はこの残酷な遊戯を楽しむ様に、わざとヨロヨロと足取りを乱して君子を部屋中追い廻し、時にはそのいやらしい手が、素っ裸で逃げまわる君子の乳房に触れ、腰に触れ、臀部を突つ／＼のでした。その度に必死の君子は悲鳴を上げて重造の手を引つ掻き、顔に爪を立て抵抗するのです。「チエツ。小娘だと思つて遊んでやつていりやいゝ気になりあがつて、えへへ。もう、かんべんできねえぞ。」

フーフー息を吐きながら重造は部屋の

隅に身を縮めている君子をにらみつけているのです。すると重造の頬には君子に引つ掻かれた生々しい傷が、二筋、三筋赤く血の色を浮き出させていました。

重造の言葉のように、今まで捕えずに追いまわしたのは、言わば猫が捕えた鼠をもてあそんで喜悅する様なものだったのでしょう。一絲もまとわぬ処女が、せいく／＼苦しい息を吐き、その美しい柔肌に香々わしい汗をじつ／＼とにじませて逃げまわるのを見る事は、この男にとつてなんと好ましい楽しみだったことでしょうか。

重造はゆらりと立ち上つて君子に近ずきました。その手には先刻まで君子を縛つてあつた細引きがにぎられていたのです。それを見て君子はさつ／＼と身を固くしました。だが、一生懸命に逃げ廻つたあけくの果なので、円くすべ／＼した乳房も汗でヌラ／＼と光り、ハアハアと吐く呼吸はとても苦しうなのです。

「アツ。い、いやッ。」

今にもビチ／＼と弾ね返りそうな君子を、重造は苦もなく押えつけていました。右腕を折れる程グイ／＼と背中中に捻じ上げられ、君子は肩を八の字に寄せて苦痛と戦いながら、裸身を弓なりにそれさせます。上を向いた二つの乳房が息づいて盛り上つた胸の隆起はブル／＼と震えていたのです。重造は空にもかく君子の

左手も後にねじ上げて畳の上につつ伏せに押え込むと膝で君子の背中を押しつけながら、両手首に縄を巻きつけてゆくのでした。助けてやる事も出来ずそれを見守る私の目の前で、重造は意地悪くもゆつ／＼と、しかも素肌に細引が喰い込むほどひ／＼と縛り上げるのです。

やがて重造は、君子を引き起して坐らせました。あゝ何となう無残な姿でしよう、重造の前に真正面に坐らされた君子は両手はもう高手小手と云うのでしようか、見ただけでも痛々しい程後にねじ上



げられ、胸に三巻きも廻された縄は、恐らく一本の小指も差し込めぬかと思うばかりに膚に喰い入つて乳房は大きくなつた様に細引の間から盛り上つていたのでした。君子は細目の痛さに身を屈えながら、それでも片膝を立て、ムツチリと肥えた太腿を必死に合わせて、羞恥の場所を男の眼から覆おうとしていました。うら若い娘の身で、一絲まとわぬ丸裸にされて、隅々まで覗かれる羞かしさ、辛さは、それはもう死にもまさるものでしょう。私が若し縛られていなければ、

直ぐにでも私の着物を脱いで、君子の羞かしい姿を襲つてやつたことでしょうか。「イヒヒ、ッ。どうだ、おとなしくしていればいゝものを、あはれるからこんな眼に逢うんだ、そんな姿を着にして飲む酒はまたたまらなく旨いぜ。」

そう云いながら重造は、持つて来たウイスキーの瓶を傾むけ、グラスをちびり／＼と注いでいるのです。

顔を伏せて歯を喰いしばっている君子の眼から、長い美しいまつ毛をぬらしてハラ／＼と口惜し涙が太腿の上に落ちました。

「フツフツ。むつちりした、いゝからだをしてるじゃねえか。そんなに膝を立てゝいても、あぐら縛りにでもされて見ろどんなに身をもんでも、こたえられねえ姿になるぜ。」

そんな、いやがらせを云う重造は、本当に次の場面では何をするか知れたものではありせん。

「あれを見ろよ。」

君子の顔に手をかけた重造はグイ／＼天井の方を向かせます。其処には太い滑車が取付けてあつて、ロープが通してあるのです。君子は瞬間ハット身を震わせて私の方に倒れかゝりました。

「アツ。お、お母さまッ、助けて。」

「……………」

私は猿轡の下から呻きました。その様子をみた重造はカタリとグラスを置いて立上りました。

「さあ、立膝なんかしてないで、一度、すう／＼と足を伸して見せてくれよ、いやだと云つても吊るしあけるぜ。」

(以下次号)

新時代の風俗雑誌
刊奇譚クラブ (送料共)

(第七卷第三号) 三月号発売中

他に類例のない異色ある編集、古今東西に亘つた豊富な内容、前衛的風格を持つた唯一の風俗雑誌奇譚クラブは真摯な編集陣の努力と熱狂的な読者の支持によつて此処に齡七年を迎え、今や確固不動の揺がざる基盤を作り上げました。

直接購読予約会員の激増により、読者による読者のための雑誌という本来の目的に向つて邁進することが出来るようになりました。今後号を追うて益々充実発展、以て愛読者の御期待に副いたいと思ひます。

◎奇譚クラブの旧号(バックナンバー)は左記の通り在庫してあります。

八月号 責めと男色特大号

九月号 倒錯の告白特集号

十月号 切支丹迫害史特集号

十一月号 宗教刑罰戦慄画譜

十二月号 惑溺の愉悅特集号

右は送共九十円にてお送りします。

七月号以前は全部品切となりました。

新年号 縛つた女を描く

二月号 責めの小説特集号

二十八年新年号及び二月号は送共各百円にて急送します。各月号の詳細目次は最近号に発表してありますから御覧下さい。◎直接予約購読者へは毎月厳重荷造の上書店発売前に発行所より読者へ第三種便にて直送致します。

◎KK通信一、二、三品切、四号、五号は若干残部があります。